

新基地建設反対名護共同センター ニュース

オール沖縄1区～4区全員当選で辺野古埋め立てを止めよう！



辺野古止める手段ある!!

「オール沖縄会議」は十月五日(土)、辺野古のキャンプシユワブゲート前で県民大行動を行い約六五〇人が参加しました。

「オール沖縄会議」の稲嶺進共同代表は、石破首相が自民党幹事長時代に沖縄の自民党を平成の「琉球処分」で辺野古容認に屈服させ、沖縄の軍事要塞化に繋げている危険性を指摘しました。

「オール沖縄」一区代表で日本共産党のあかみね政賢衆院議員は、石破首相が首相選時に日米地位協定改定を唱えながら、所信表明演説で触れなかったのは、米国の圧力への恐れを示している」と指摘。沖縄では、有事の際の住民避難の準備が始まっていて「戦争前夜だ」と批判。こうした政治を終わらせるためにも「オール沖縄」四人全員を何としても押し上げてください」と呼びかけました。

沖縄平和市民連絡会の北上田毅さんは、大浦湾で作業船が土質調査をしていることに触れ、防衛省は設計変更申請の段階で力学的な調査をしていなかった。これは軟弱地盤が最も深いとされる「B27」地点周辺のボーリング調査だと指摘、「調査で大変な数値が出ることは目にみえ、防衛省は設計変更しないといけなくなる。辺野古の工事を止める手段はまだある」と訴えました。

デニー知事はメッセージを寄せ、九月の訪米活動の成果と、国際機関のスタッフの訪沖を取付けたことを報告しました。

日米地位協定の改定で米軍に国内法の適用を確立させよう！ (寄稿)

私は沖縄で米軍基地、飛行場、歴史を視察させていただきました。

辺野古基地の問題は他の基地の問題と密接にかかわりあっていること、沖縄県と日本政府や米国との対話が全くなされていないこと、日米地位協定および日米合同委員会の在り方に問題を感じました。

何となく知っているつもりだった日米関係と沖縄県の問題を深く考察するきっかけをいただき、本当にありがとうございました。

まず、始めに言っておきたいのが、辺野古基地の問題は普天間基地を含むほかの基地問題と密接に関わっている。沖縄県の問題が解決されずに長期化した理由は

日本、米国、沖縄でまともな対話がなかったことであると私は考えています。蛇足にはなるかもしれないが、個人的には辺野古新基地移設には反対ですが、移設が完了するまで、「世界一危険」と言われる普天間飛行場を日本政府は放置し続けるつもりなのだろうか。

辺野古への基地建設は1995年の沖縄米兵少女暴行事件に代表される米軍兵士の犯罪や事故・騒音問題等の米軍基地の整理縮小案として普天間飛行場を辺野古に移設する計画がたてられました。日米地位協定のあり方と他国との比較では、他国では米国との地位協定が改定されているが、

日本では1960年に締結されて以来、60年以上経過するが、一度も改定されたことはない。

日本では米軍基地¹の運用や立ち入り許可、米兵の裁判権などにおいて米軍の裁量に委ねられており、特権的なものになっている。

東京土建調布支部 石原分会

廣澤 基



今 たたかいは正念場！みんなに観てもらいたい！

「いのちの海 辺野古 大浦湾」 上映時間 71分

「いのちの森 高江」 上映時間 65分

監督・謝名元慶福 語り・佐々木愛



DVD2 枚セットで頒価 1,500 円

※集会や学習会などで自由に上映できます。
※共同センターに申し込みいただければ、送料無料でDVDと郵便振り込み用紙を同封してお送りします。

お申し込みは **新基地建設反対名護共同センター**

〒905-0011 名護市宮里447-20 丸平第2アパート102号

Tel 0980(54)8555 Fax0980(54)8556

Eメール nago.kyodoc@bird.ocn.ne.jp

Gメール nago.kyodo@gmail.com

素晴らしい自然、高江住民の思いとたたかひの記録

—3000種以上の動植物が生きるやんばるの森—